

4.1.作業概要

●平成25年度

- SI事業者の決定、パッケージ選定(完了)
- 概要設計(ワーキングメンバーで仕様決定)
- データセンター、ネットワーク、ハードウェア整備
- 詳細設計

●平成26年度

- 設計内容(カスタマイズ)適応、データ移行
- システムデータ検証、操作研修(10,11月)
- 共同化対象システムの拡充を検討
- 第4四半期から運用開始

4.2. 打合せボリューム

●平成25年度

	コマ数 (1コマ2時間程度)					
	H25想定作業					実績
	外部設計		詳細設計	構築	合計	
	FIT&GAP	設計				
合計	371	457	220	28	1,128	1,224

●平成26年度

	コマ数(1コマ2時間程度)				
	両市	富士市個別	富士宮市個別	情報政策単独	合計
合計	411	553	409	175	1,548

4.3. FIT&GAPの取扱い

両市業務へFITさせるためGAPに対して複数の対応方針を提示



- ・「コスト削減」の目的を達成するため、安易にカスタマイズしない。
- ・GAPは、出来る限りコストをかけずに、代替案で対応すべき。

4.4. パッケージ選定

PKG選定

選定対象PKGの抽出

候補PKGの評価

GAPへの対応方針の提示

提案PKGの提示

5つの選定条件

・前提条件(地域情報PF、実績) ・機能 ・業務適用性 ・費用 ・拡張性

No	指標項目	説明	評価基準
1	機能 適応性	(1) 適切なユーザビリティを保持しているか？	ユーザ評価 適合率が 80%以上:○ 79~70%:△ 70%未満:×
		(2) 機能要件・機能要求事項に対応しているか？	業務適合度評価結果(標準機能/項目数)が 70%以上:○ 69~60%:△ 60%未満:×
		(3) FIT&GAP(評価時)において現行業務との乖離が 少ないか？	業務適合度評価結果((標準機能+EUC+業務運用)/項目数)が 80%以上:○ 79~70%:△ 70%未満:×
2	技術 要件	(1) 最新技術トレンドに合った環境(H/W、OS、NW、 クライアント)で実現できるか？	Web版:○ ・ C/S版:△ ・ その他:×
		(2) ベンダー特有の言語・仕様・制約を用いてい ないか？(開発言語、ソフト(OS、DB、)、ハード ウェア、通信プロトコル 等)	無し:○ ・ 有り(1つでも):×
		(3) 全体最適を実現するための構成・機能を有して いるか？	総合窓口機能の有無 有り:○ ・ 無し:× ※基幹系主要システム 統合PKG機能の有無 有り:○ ・ 一部業務無し:△ ・ 無し:× ※主要システム
3	柔軟性	(1) 法制度改正対応をPKGとして最小限取り込んで いるか？	全国統一の法制度改正対応をPKGサポート範囲に含まれているか？ (補助金が付く等大規模改正は除く) 含む:○ ・ 含まない :×
		(2) カスタマイズ範囲が極小化できる構成か？	EUC機能が充実しているか？ 抽出項目を設定できる:○ ・ 固定:△ 機能無し:× パラメータの設定により自治体間の差異を吸収できる 仕組みがあるか？ 有り:○ ・ 無し:×
		(3) 総合窓口等、業務間連携、システム間連携が 共通の機能を介して実現可能な構成か？	システム(データ)連携用の外部インターフェースが有るか？ 有り:○ ・ 無し:×
4	シス テム 運用	(1) 導入・運用マニュアル、トレーニングプログラム が充実しているか？	導入・運用・管理者マニュアル・利用者マニュアルが 整備されているか？ 有り:○ ・ 無し:×
		(2) 利便性、運用性に優れているか？	迅速に保守対応が可能なソフト・ハードウェア拠点があるか？ 有り:○ ・ 無し:×
		(3) 静岡県内の地元企業で運用保守が可能か？	実績有り:○ ・ 実績は無いが運用保守は可能:△ ・ 不可:×
5	導入 実績	(1) 導入実績が多く、安定稼働しているか？	導入実績数(導入実績無しは選定対象外) 10以上:○ ・ 5以上10未満:△ ・ 1以上5未満:×
		(2) 両市(10万人以上・20万人以上)規模と同規 模の自治体において導入実績があるか？	20万人以上:○ ・ 10万~20万人:○ ・ 10万人以上無し:×
		(3) ユーザを多く獲得し、 プラス評価を得ているか？	評価を得ている:○ ・ どちらともいえない:△ ・ 評価を得ていない:×
6	コスト	(1) 共同電算化実施計画にて想定費用にて実施 可能か？	両市様の考えるコストシミュレーション内の費用にて実施可能か？ 実施可能:○ ・ 実施不可能:×

6つの評価指標

- (1) 機能適応性
- (2) 技術要件
- (3) 柔軟性
- (4) システム運用
- (5) 導入実績
- (6) コスト

4.5. 追加カスタマイズ

業務	件数
住民記録	0
住民情報(印鑑)	0
住民情報(選挙)	0
住民情報(学齢簿)	0
健康管理	1
OCR	1
共通	1

業務	件数
宛名	1
固定資産税(土地)	4
固定資産税(家屋)	1
固定資産税(償却)	0
固定資産税(賦課)	0
個人住民税	7
法人住民税	1

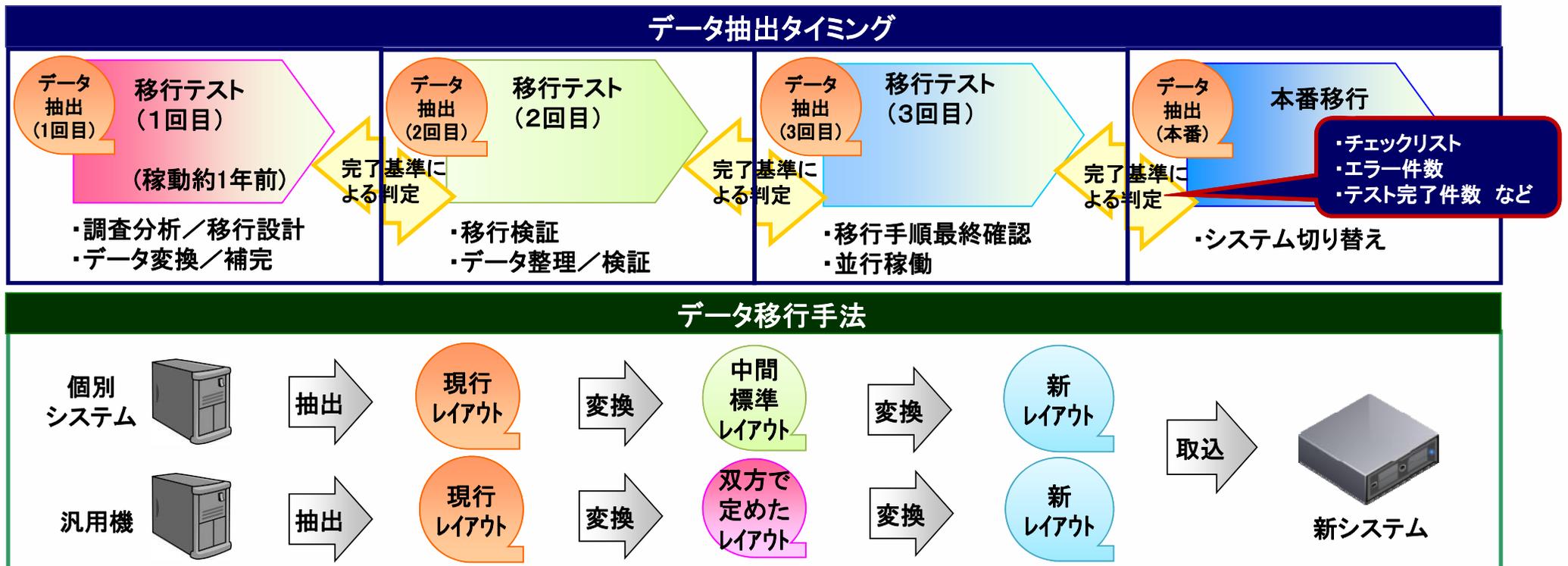
業務	件数
軽自動車税	3
収納	4
滞納	1
国民健康保険(資格)	0
国民健康保険(賦課)	0
国民健康保険(給付)	5
国民年金	0

総カスタマイズ件数

30件

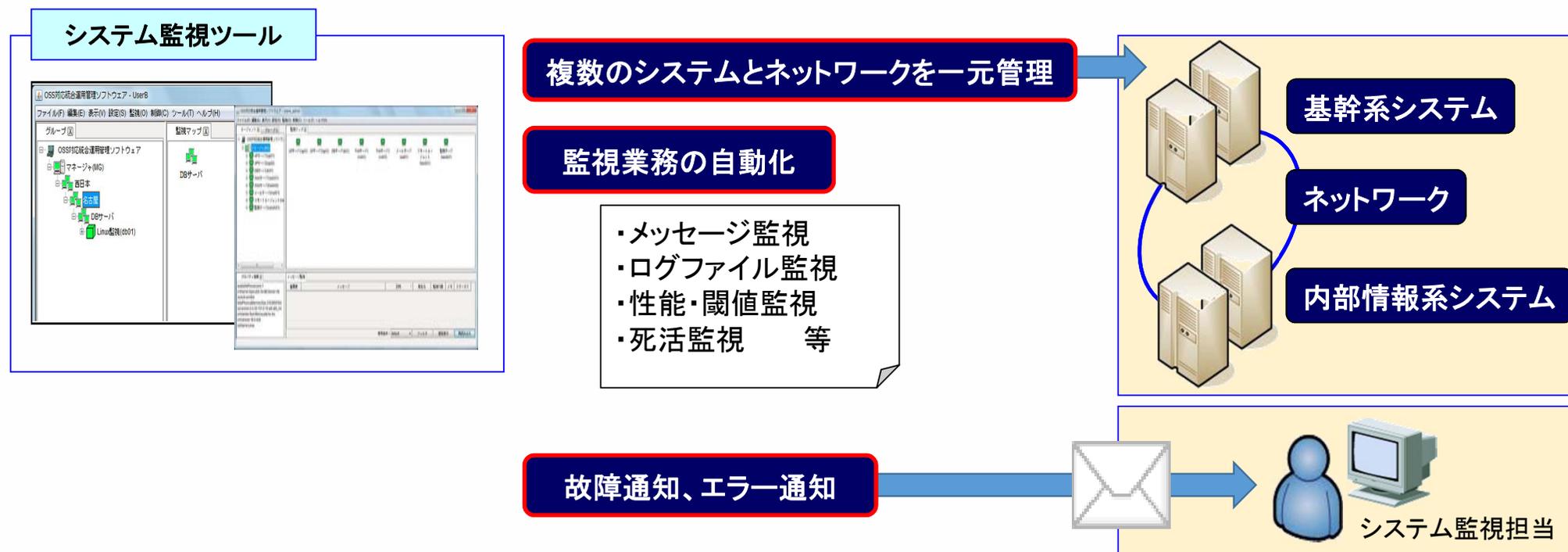
4.6. データ移行

適切な「データ抽出タイミング」と「移行手法」が重要



4.7. システム運用監視

両市機器を運用チームが一括監視



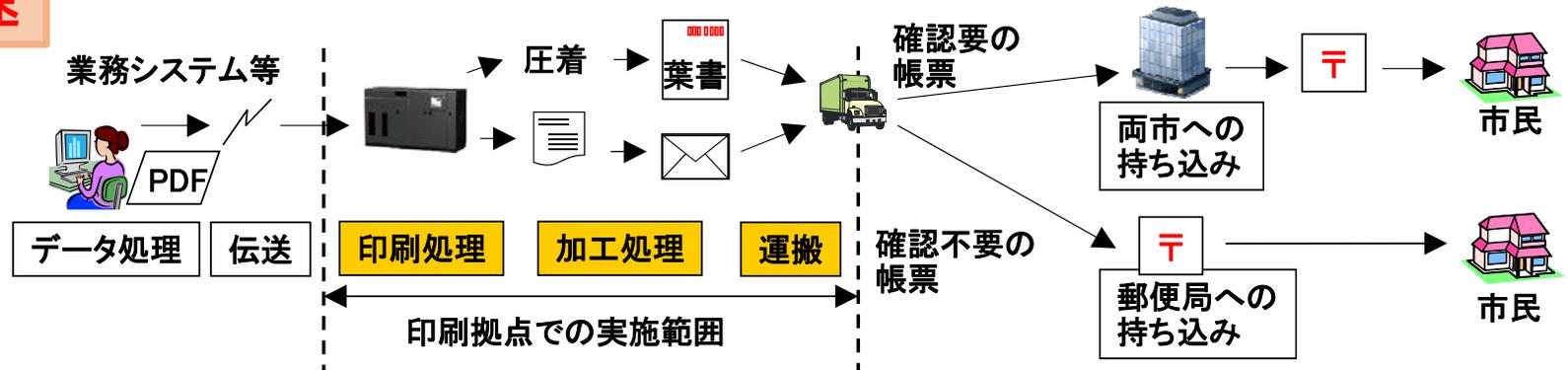
4.8. ヘルプデスク

全ての問い合わせはヘルプデスクが対応

- 業務内容
 - 一次受付
 - SV事業者等へディスパッチやエスカレーション
 - 即時回答のためのFAQの整備
 - 作業状況のフォローアップ
- 業務範囲と受付方法
 - 共同電算対象外のOA環境なども含む
 - 無料通話で対応(8:15 ~ 17:30)

4.9. 帳票オペレーション

アウトソースを加速



引き抜き作業



どの箱に通番の何番が入っているか記載

② 発送簿と同一の並び順で帳票完成物を納品

① 通番を記載した、帳票完成物と同一の並び順の発送簿



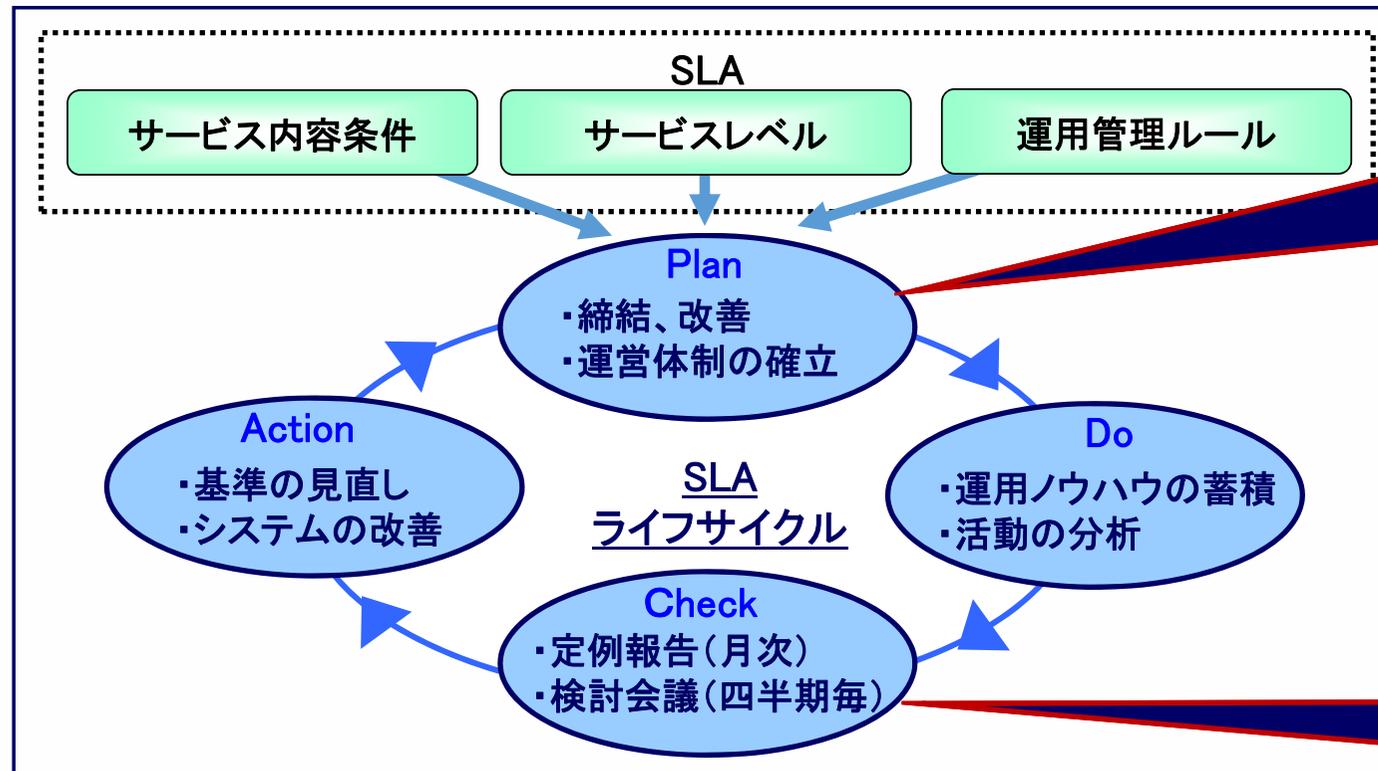
名前や住所ではなく、通番という検索性の高いキーで、抜き取り対象帳票を探すことで、作業負担を軽減

〇〇税当初納付書発送簿

通番	キー番号	氏名	住所
1	1000006	岩澤太郎	富士市〇〇町1丁目XX番地
2	201560	岩澤次郎	富士市〇〇町2丁目XX番地
3	450456	鈴木進	富士市〇〇町3丁目XX番地
4	440654	加藤信子	富士市〇〇町4丁目XX番地

4.10. サービスレベル協定

継続的なサービスレベルの維持・向上

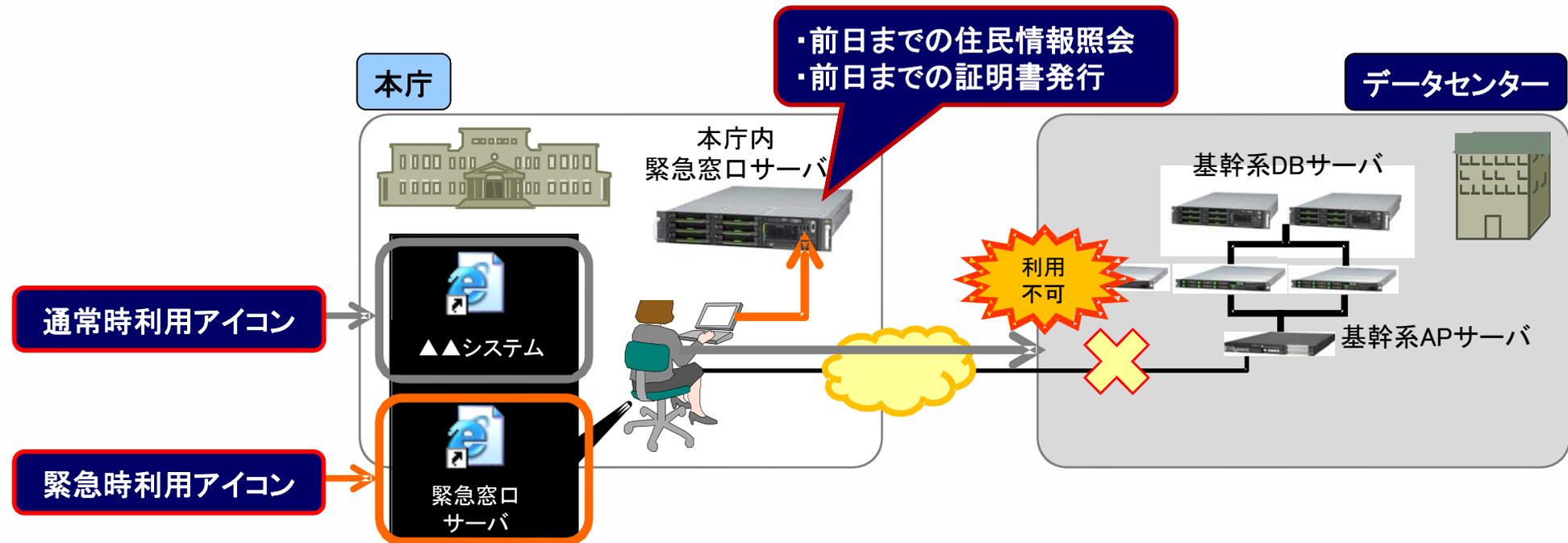


- ・タスクライン遵守率
- ・正常稼働率
- ・オペレーション業務の遵守率
- ・障害対応時の遵守率
- ・問合せ対応(一次回答率)

- ・改善計画の策定
- ・改善・復旧作業の実施
- ・再発防止策の提示

4.11. 業務継続への取組

オンプレミス緊急窓口サーバの導入



5. 課題と第2期共同電算事業

- 5.1. これまでに発生した課題
- 5.2. 新規取組
- 5.3. 契約及び事務経費
- 5.4. スケジュール

5.1. これまでに発生した課題

- ① データ移行の難航
 - 自己開発システム(汎用機)と標準パッケージシステムとの乖離(かいら)による
- ② カスタマイズの予想以上の発生
 - 仕様書の精査が不十分だったことによる
- ③ 一部職員の業務負担増加や増員を要する部署の発生
 - データ検証作業や操作習得による
- ④ SLA項目と実情とのズレの発生
 - 障害や作業ミスが適切に数値化できないことによる

5.2. 新規取組

- ウェブ会議システムの導入。
- ロボットによる業務自動化(RPA)の調査研究。
- 第1期事業の課題解決の実施。
 - 問合せ運用体制の見直し
 - SLAの最適化
 - EUCの利用を推進
 - スキル向上に向けた研修の実施

5.3. 契約及び事務経費

- 両市の事務負担を均等とする
- 受託者との契約を各市個別とする

- 費用は平準化して支払う
- 経費は第1期計画で想定した範囲内
- 各市の費用負担は、第1期事業方針を継続
 - 按分率 富士市:57.1% 富士宮市:42.9%

5.4. スケジュール

事業	工程	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度	H36年度
第1期	運用	運用期間							
第2期	仕様策定	仕様策定(～H30.7)							
	仕様確定・覚書取交し	仕様確定・覚書取交し(H30.7)			H30.7.24 富士地区電子自治体推進協議会				
	契約準備	業者選定・契約交渉(H30.7～12)							
	契約		◆契約(H30.12～H31.1)						
	構築	基幹系システム(MISALIO等)は、H32年1月以降切替			構築(H31.1から順次)				
	切替								
	運用				運用管理期間				
					第2切替グループ以降のシステムを順次開始				

さいごに...

意外と「人材」に左右されることに注意

- ① 「IT部門の意識変革」をする
- ② 「高いアンテナと人脈」を持つ
- ③ 「やらせる」でなく「やる」
- ④ 「仲良く出来そうな団体」と組む
- ⑤ 「チームワーク」がとても大事
- ⑥ 「全員で納得感を得る」
- ⑦ 「ケチりすぎない」

ご清聴ありがとうございました

なにかありましたらお気軽にお問い合わせください

fukasawa_yasunobu@sr.city.fuji.shizuoka.jp



http://www.slideshare.net/fukasawa_jp/